

別添 3

令和 3 年（2021）年度ウルメイワシ太平洋系群の 管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人水産研究・教育機構並びに共同実施機関は、2021 年 9 月のウルメイワシ太平洋系群の研究機関会議において議論した管理基準値等について、以下の点を提案する。

適用する管理規則

「令和 3（2021）年度漁獲管理規則および ABC 算定のための基本指針（FRA-SA2021-ABCWG02-01）」の 2 系資源の管理規則を適用する。

管理基準値

- ・ 目標水準は、資源量指標値の 80%水準で 1.34（平均値を 1 とする相対値）
- ・ 限界水準は、資源量指標値の 56%水準で 1.06（平均値を 1 とする相対値）

その他

- ・ 目標および限界水準の推定に使用するデータは、本系群の令和 3（2021）年度資源評価において求めた資源量指標値および漁獲量である。
- ・ 資源量指標値は、卵稚仔調査に基づいて得られた平均卵密度を、Vector Autoregressive Spatio-Temporal モデル（VAST model）を用いて標準化し、平均値を 1 とする相対値で表したものであり、本系群の親魚量を指標する。
- ・ 漁獲量は漁業養殖業生産統計年報で報告されている、太平洋全域（南区+中区+北区+北海道区）および瀬戸内海区の漁獲量の合計値である。
- ・ 本資源は令和 2（2020）年度まで半年単位のコホート解析により資源評価を行ってきたが、新たな MSY ベースの資源評価へ移行する上で、資源量指標値と漁獲量を用いた 2 系資源の管理規則を提案する。今後は、資源量の推定に向けてプロダクションモデル等の適用を検討する予定である。